

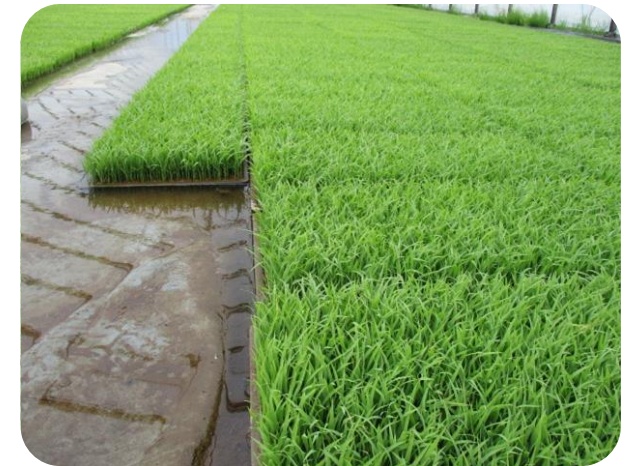


多収性品種+助成金で収益確保をめざす！

平成 30 年度より国による生産調整はなくなりましたが

水田活用の助成金(加工用米、WCS、飼料用米等)は継続になるようです。

従来は転作面積を消化するため加工用米(多収性品種)を作付していました。



今後は

経営の一部に多収性品種を栽培し、助成金を含めた計算できる収益の確保に取り組んでみてはいかがでしょうか？

◇加工用米作付した場合の 10a 当たりの収益を比較してみました。

(H29 概算金で試算)

	一般米(あきたこまち)	加工用米(多収性品種)	
収 量	570 kg	690 kg	720 kg
販 売 金 額	123,500 円	96,500 円	102,000 円
	(9.5 俵×@13,000)	(10 俵×@8,000) 加工用米 (1.5 俵×@11,000) 一 般 米	(10 俵×@8,000) 加工用米 (2 俵×@11,000) 一 般 米
水田活用助成金		20,000 円	20,000 円
合 計 金 額	123,500 円	116,500 円	122,000 円
収益の安定度	収量、収入不安定	収量、収入安定	